

不登校支援に向けた取組の充実について

1 経緯と目的

昨年度の国の調査によると、全国の不登校の児童・生徒数は34万人を超え、過去最多となった。このような状況から、子供たち一人一人の様々な状況に対応した居場所づくり、教育環境の整備が求められている。

本区においても不登校の児童生徒数は増加傾向が続いており、生活指導上の喫緊の課題となっている。そのため、これまでの取組に加え、新たにチャレンジクラスの設置、校内別室指導支援員及び不登校対応巡回教員の配置を通じ、不登校施策の充実を図る。

2 新たに実施する不登校支援の取組

(1) チャレンジクラス【東京型不登校特例校】の設置

①事業の概要・目的

不登校の生徒を対象とした学級を中学校内に分教室として設け、教員を配置し、生徒の実態に配慮した特別の教育課程による授業を実施する。また、少人数環境の中、安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある教育課程（1日4時間程度）を編成することで、チャレンジクラスに在籍する生徒の登校日数の増加、学習内容の定着を図る。また、チャレンジクラスに在籍する生徒を含む、設置校全体で、学校内外の機関等や教職員による相談・指導等を受けていない生徒の解消等を図る。

②設置校

上野中学校

③予算額（案）

歳入 902千円

歳出 1,805千円

(2) 校内別室指導支援員の配置

①事業の概要・目的

登校はできるものの、教室に入れない児童・生徒に対して、空き教室等を活用した学習の場を設置するとともに、見守りやICT機器操作の支援等に従事する校内別室指導支援員を配置することで、不登校の未然防止や早期解決を図り、個別最適な学びの充実や社会的自立の一助とする。

②設置及び配置校

区立小・中学校 全校（26校）

③予算額（案）

歳入 1,260千円

歳出 32,857千円

(3) 不登校対応巡回教員の配置

①事業の概要・目的

区立中学校（7校のうち5校）を週1回訪問し、不登校対応や不登校を生み出さない魅力ある学校づくりについて、助言等を行う。また、生徒が安心して登校し、学校生活を送ることができるよう、空き教室等を活用した学習の場の環境整備や活動内容について、校内別室指導支援員とも連携を図る。

②拠点校

忍岡中学校

（令和7年度巡回校：御徒町台東中学校・柏葉中学校・桜橋中学校・駒形中学校）

3 不登校支援の全体像（既存事業と新規事業の関係性）

在籍校への登校が可能	在籍学級への登校は困難だが、学校内での支援が可能	学校以外での支援が必要
<p>校内での支援 合理的配慮、オンライン授業、SC面談等を行う。</p>	<p>◆新規事業 上野中 チャレンジクラス 少人数環境の中、ゆとりある教育課程(1日4時間程度)を編成し、教育活動にあたる。【指導課】</p>	<p>生活指導相談学級 あしたば学級 個別や小集団による学習支援を行ったり、生活指導相談員等が面談を実施したりする。【教育支援館】</p>
<p>エデュケーション・アシスタント (小学校) 副担任的な立場で、児童の支援等を行う。【指導課】</p>	<p>バーチャル・ラーニング・プラットフォーム 仮想空間におけるコミュニケーション、ドリル教材等に取組む環境を提供する。【教育支援館】</p>	
<p>◆新規事業 校内別室指導支援員の配置 空き教室等を活用した学習の場の設置及び校内別室指導支援員の活用 担任等との連携の下、支援員が、児童生徒の学習支援や相談に応じる。 【教育支援館】</p>		<p>ふれあいパートナー 週1回自宅を訪問して、利用者の話し相手や遊び相手としての活動を行う。 【教育支援館】</p>
<p>◆新規事業 不登校対応巡回教員(中学校)の活用 区立中学校(7校のうち5校)を週1回訪問し、各校の不登校対応や不登校を生み出さない魅力ある学校づくりについて、助言等を行う。【指導課】</p>		
<p>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等 外部人材の活用</p>		

4 今後の予定

令和7年4月

チャレンジクラス開設、校内別室指導支援員配置
不登校巡回教員配置